

# くずは

2023. 3. 10  
発行 くずはの家  
〒257-0031 秦野市曾屋 1137  
TEL&FAX 0463(84)7874

## 今月の話題 「悪魔の虹」

2月26日(日)快晴、青空の中、太陽の周りに“悪魔の虹”が現れました。悪魔の虹とは私が勝手にそう呼んでいる、空中に飛散するスギ花粉による「花粉光環(かぶんこうかん)」のことです。大変美しい気象現象なのですが、これは大量の花粉が大気中に漂っていることを示しています。

なぜ悪魔の虹と呼んでいるのか、それは私がひどい花粉症に悩まされているからです。今から40年ほど昔、私が勤務していた職場は、座間にある米軍の水道施設の隣に建っていました。ここにはスギの木がたくさんあり、春先に南風が吹くと窓の外には黄色い煙が漂い、自家用車の屋根やフロントガラスには花粉が降り積もるほどでした。こんな場所で数年働いたものですから、そこですっかり花粉症を発症してしまいました。

大気中に花粉が漂うと、なぜ虹の輪が現れるのか。ここで現れる虹は、空に浮かぶ水滴内部の“屈折”でできる、雨上がりの虹とは違って、“回折(かいせつ)”という仕組みで説明できるのだそうです。波の性質を持つ、音や電波や光は基本的には直進しますが、障害物があるとその障害物を回り込んで伝わります。これを回折と言います。その際、波長(波の山から山までの長さ)の違いによって、曲がり方が違って、波長の短い波(光では青い光)ほど直進し、波長の長い波

(赤い光)ほど大きく曲がります。空中に無数に漂っている花粉で回折が起こると、花粉は大きさがそろっているため、回折したそれぞれの波長の光が、太陽を中心に輪を描くように集まり、赤色を外にした虹色の環ができます。光環の虹色は、花粉の粒子がたくさんあればあるほど濃く、見えやすくなるので、悪魔の虹が現れるときには、たくさん花粉が飛散しています。花粉は眼や鼻の粘膜に付着し給水して膨れ、破裂します。すると、内部の細胞が露出し、そこに含まれる物質が抗原(アレルゲン)となって、抗体と結合することで免疫細胞からヒスタミンなどのアレルギー誘発物質が放出され、アレルギー反応が起こります。これにより、くしゃみ、鼻水、眼のかゆみに悩まされるのです。



花粉光環

花粉症を軽減するにはスギ花粉の絶対量を減らせばいいのです。哺乳類研究家の熊谷さとしさんによれば、スギの雄花が成熟するこの時期、モモンガの雌は出産を控え、スギの雄花をほぼ主食としているそうです。ですから、モモンガを増やし、スギの雄花をどんどん食べてもらえば、花粉も減るんじゃない?とのことでした。是非とも、モモンガ用巣箱をたくさん掛けてスギ花粉症対策をしましょう。

文・写真:くずはの広場所長 高橋孝洋

## 行事報告



2/12(日)ちびっこあつまれ!冬のしぜん(26人)



2/25(土)冬の野鳥観察(26人)

2/26(日)冬の星空教室(12人)も実施しました!

## 参加者の声

- ・大人も初めての体験がいっぱいで楽しかったです。子どもがやる気まんまんで良かったです!!
- ・かぶと虫の幼虫もカエルの卵も初めて触りました。触れる機会はないので、このようなイベントは大人も楽しめました。(ちびっこあつまれ!冬のしぜん)
- ・ジョウビタキとルリビタキの見分け方がとても参考になりました。鳴き声はまだわからないのもっと鳴き声も勉強したいです。
- ・イカルの大群感動しました。(冬の野鳥観察)
- ・星がいっぱいみえてうれしかった。とくにオリオンの大せいうんがとてもきれいだった。ぼうえんきょうで星がとてもみえおどろいた。
- ・大きい望遠鏡で見ると月のクレーターガリレオ衛星もトラペジウムも見えて感動!自然の光、宇宙、素晴らしい!! (冬の星空教室)

# くずはの家 行事案内

昼の行事: 小学2年生以下は保護者同伴 夜の行事: 小学生は保護者同伴

日時	テーマ・講師	対象・定員	受付開始
3月28日(火) ~4月2日(日) 9:30~16:30	<b>*企画展「たね展」</b> 100種類以上のたねを展示するよ! ボランティアの会のお店では、シダーローズや綿の実を買えるんだ!遊びに来てね	どなたでも	当日受付
4月22日(土) 9:30~11:30	<b>「飛んでる虫をつかまえよう！」</b> えのきの会昆虫分科会・くずはの広場指導員	小学生以上30人	4月1日
4月29日(土・祝) ①受付9:30~14:00 ②受付9:30~11:30 13:00~14:00	<b>春のつどい</b> ①グリーンオリエンテーリング ②うぐいす笛を作ろう! ③もいんど遊ぼう! 10:30~/13:30~	どなたでも	当日受付 (②は先着200名)

## くずはの家自然観察指導員養成講座

地域で自然観察指導員として活動する意欲があり、全8回の講座に参加出来る方。

4月~11月の毎月第三日曜日 9:30~11:45

①②⑧は9:30~15:30(昼食持参)

費用 3,000円(8回分)

受付開始 3月15日(水)9:00 先着20人



養成講座 去年の様子

- ① 4/16 指導員の心得(吉田直哉氏)  
くずは峡谷の自然(くずはの広場指導員)
- ② 5/21 水生生物(勝呂尚之氏)
- ③ 6/18 地質岩石(門田真人氏)
- ④ 7/16 昆虫(岸一弘氏)
- ⑤ 8/20 動物(広谷浩子氏)
- ⑥ 9/17 植物(一寸木肇氏)
- ⑦ 10/15 自然観察会の作り方(青木雄司氏)
- ⑧ 11/19 野鳥(藤井幹氏)  
実習・修了式(くずはの広場指導員)

## 行事へのお申し込み・お問い合わせは

電話・FAX・メールで

TEL&FAX 0463(84)7874

E-mail, kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

3月の休館日

6日、13日、20日、22日、27日

4月の休館日

3日、10日、17日、24日

<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/>

秦野市のHPの公共施設案内にくずはの家HPがあります!

## 秦野ガス・ネイチャーパークくずは

## くずはの家のボランティア活動

### ☆2月の活動

定例会:2/5(日)は、薪小屋から薪運び出し、外の薪小屋に積み直しました。枝下ろした大量のコナラの枝も短く切って片付けました。

2/16(木)は、ナラ枯れで伐倒したくすのき広場のコナラを薪やシイタケほど木用に切断しました。新しい薪割り機で薪も作りました。

花壇の会:2/3(金)どんぐり山の階段の落ち葉掃きと花壇用の苗ポットの整理をしました。

とんぼのせせらぎ:2/23(木)は中止。

### ☆これからの活動

定例会:3/16(木)、4/2(日)、4/20(木)

花壇の会:4/7(金)、5/12(金)

とんぼのせせらぎ:3/23(木)、4/27(木)



この活動は一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けて実施しています。



# くずはの広場観察路マップ

2023年2月27日調べ

①～⑬には観察板があります。  
回ってみましょう！

- 凡例
- △ つぼみ
  - ▲ 咲き始め
  - 開花
  - ◎ 満開
  - 咲き終わり
  - ◇ 実
  - ◆ 熟した実



## 2月の野鳥

(1月31日～2月27日調べ)

- 1、キジバト
- 2、アオサギ
- 3、ダイサギ
- 4、トビ
- 5、ハイタカ
- 6、ノスリ
- 7、コゲラ
- 8、アオゲラ
- 9、チョウゲンボウ
- 10、リュウキュウサンショウクイ
- 11、モズ
- 12、オナガ
- 13、ハシボソガラス
- 14、ハシブトガラス
- 15、ヤマガラ
- 16、シジュウカラ
- 17、ヒヨドリ
- 18、ウグイス
- 19、エナガ
- 20、メジロ
- 21、シロハラ
- 22、アカハラ
- 23、ツグミ
- 24、ルリビタキ



今年のウグイスの初鳴きは2月18日でした！  
(昨年記録は2月9日)

## 2月の昆虫

- 25、ジョウビタキ
- 26、キセキレイ
- 27、セグロセキレイ
- 28、カワラヒワ
- 29、シメ
- 30、イカル
- 31、アオジ
- 32、コジュケイ
- 33、ガビチョウ

### カメムシの仲間

- クヌギカメムシ
- キマダラカメムシ
- セアカツノカメムシ
- アカシマサシガメ
- ヨコヅナサシガメ(幼虫)

### その他の仲間

- オオハリアリ
- コカゲロウの仲間
- イヌツゲタマバエ(幼虫)
- オオカマキリ(卵しょう)
- コカマキリ(卵しょう)
- ムネアカハラビロカマキリ(卵しょう)

## くずはの広場トピックス

### コナラ伐採…2月14日

コナラ枯れの被害によりくずのき広場のコナラを伐採しました。直径60cm、高さ約12mの大木で、なくなると広場がとても広く感じられます。少し寂しいですが、萌芽が育つのを楽しみにしたいと思います。

### でんじろう池のアオサギ…2月16日

アオサギがでんじろう池のカエルをねらい度々やってきます。大きな翼を広げふわりと池に降り立つ姿が雄大です。でもあんまりカエルを食べないで～

### クヌギカメムシの卵

樹木の名札の裏で様々な生き物が越冬しています。でも、常連だったクヌギカメムシの仲間の、ゼリーのような卵かいが今年は見当たりません。近年減っていましたが…普通種だけに気になります。



ショカツサイ



元気な頃のくずのき広場のコナラ



伐採後の様子(3月6日現在)